

## 産地パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施地区数 ア	評価対象外地区数 イ	評価対象地区数 アーイ	成果目標の平均達成率	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必	【参考】 評価対象地区数のうち、達成率80%未	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
宮崎県	49	31	18	26.5%	15	有	15	<p>評価対象産地計画18件のうち、目標を達成した計画は3地区となっている。</p> <p>未達成の主な要因は、販売単価の低迷、生産面積の拡大や収量の確保ができなかったことが要因となっている。</p> <p>特に、コロナウイルス感染症の影響により、取引先の在庫の関係から出荷量が制限されるなど生産量の調整等を余儀なくされた産地もあった。また、施設園芸では燃油高騰の影響から、厳寒期の設定温度を変更するなどの対応により生産量が減収した産地もあった。</p> <p>外部要因の影響は大きいものの、今後の目標達成に向け、安定した品質と収量を確保するため、関係機関と連携した技術指導により、栽培管理や施設園芸での温度管理など徹底していくとともに、販売単価については、関係機関と連携し、現状把握・分析に努め、販売単価の向上を図るための品質向上等の技術指導及び販売対策の構築を図ることにより、改善に取り組んでいく。また、産地の維持・発展に向けた新規就農者、後継者の確保にも引き続き取り組んでいく。</p> <p>これらの支援を継続的に実施し、未達成となった15地区について成果目標の達成を目指す。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し26.5%であり、目標は達成されていない。このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向け、要因の分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成の地域協議会及び取組主体に対しては、県担当者による指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。</p> <p>なお、宮崎県が改善指導を必要とした地区(達成率90%未満)については、15地区である。</p> <p>&lt;参考:評価対象地区の概要&gt;</p> <p>【野菜】(12地区) 令和3年度の評価対象の12地区のうち、目標達成している地区は1地区、未達成が11地区となっている。販売額増加の目標が未達成となった11地区の主な要因は、3地区(だいこん、ほうれんそう等)は新型コロナウイルス感染症の影響による業務用野菜の需要の減少、3地区(きゅうり、ミニトマト)は価格の低迷や資材コストの高の影響による、1地区(いちご)は、冬場の温度が低く生育未熟となったこと、1地区(ニラ)は、高齢での離農による作付面積の減少、1地区(ピーマン)は病気や単価安、1地区(ニンジン)は8月の長雨、9月の高温少雨による品質低下、1地区(いちご)は、2から4番果の出荷集中により昨年比で単収の減少などによる未達成である。</p> <p>【水稲】(1地区) 令和3年度の評価対象の1地区は、目標達成している。</p> <p>【果樹】(1地区) 令和3年度の評価対象の1地区は、目標達成している。</p> <p>【茶】(3地区) 令和3年度の評価対象の3地区は、目標未達成となっている。販売額増加の目標が未達成となった2地区は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより販売量などの減少、1地区は一番茶時期の低温や晩露、長雨の影響により収量が減少したことなどによる未達成である。</p> <p>【大麦若葉】(1地区) 令和3年度の評価対象の1地区は、目標未達成となっている。販売額増加の目標が未達成となった1地区は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより出荷量が減少したことによる未達成である。</p>